

# 令和8年度 施政方針と当初予算

問 財政課財政係 ☎95-9869

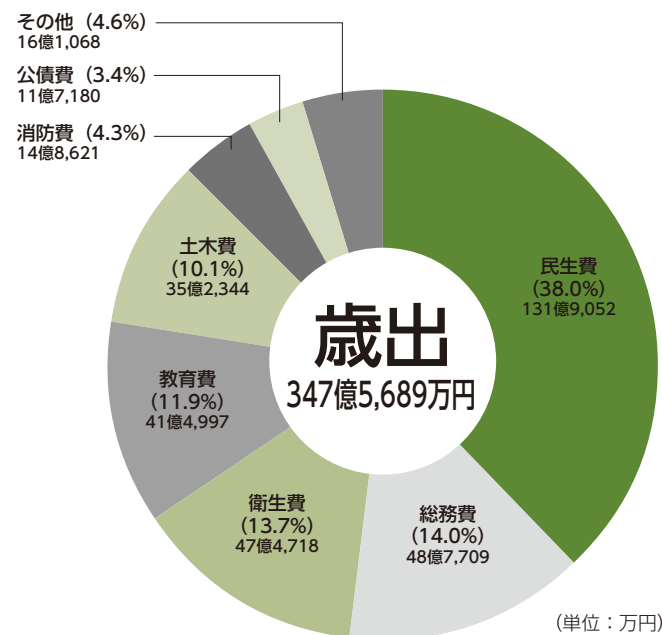
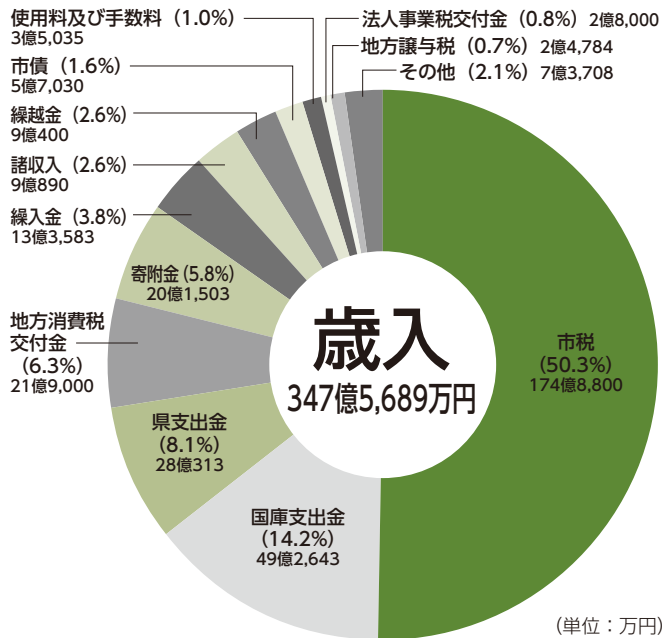
令和8年度の予算総額は673億8,351万円です。この内、一般会計は347億5,689万円です。これから1年間のお金の使い道と、どのような事業に取り組んでいくのかを知らせます（端数処理の関係で合計が一致しない場合があります）。

## 市税の内訳

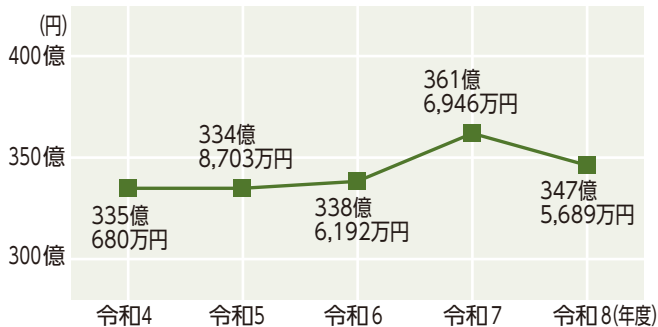
税目	予算額	前年度比
市民税	67億470万円	△3.9%
固定資産税	88億6,290万円	0.2%
軽自動車税	2億3,270万円	△0.7%
市たばこ税	4億9,800万円	△2.5%
都市計画税	11億8,970万円	0.3%

## 会計別予算

会計	予算額	前年度比
一般会計	347億5,689万円	△3.9%
特別会計	137億9,269万円	1.8%
国民健康保険	63億8,376万円	0.6%
訪問看護事業	9,561万円	△16.9%
介護保険	59億1,011万円	1.7%
保険事業勘定	58億3,612万円	1.8%
介護サービス事業勘定	7,399万円	△4.8%
後期高齢者医療保険	14億321万円	9.2%
企業会計	188億3,393万円	△9.6%
水道事業	25億7,788万円	0.2%
下水道事業	59億5,975万円	△8.5%
病院事業	102億9,630万円	△12.4%
総合計	673億8,351万円	△4.5%



## 一般会計の推移



市では、これまで高い財政力を活かし、特色ある市民サービスの提供や市民負担の抑制に努めてきました。しかし、近年の物価や人件費の高騰、公共施設の老朽化に伴う修繕費の増加、市民病院をはじめとする公営事業の経営環境の変化などにより、本市の財政状況は大きな転換点を迎えています。

このような状況の中、第6次碧南市総合計画に掲げるまちづくりの将来像「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」の実現を目指し、重要課題である次世代に向けた産業力の強化、子育て世代への支援、若者世代への魅力づくり、高齢者の生きがいの創出、公共施設の効率的な利活用の推進、行財政運営の健全化などに取り組みます。